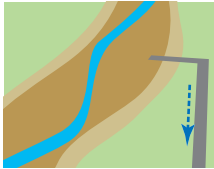


2. どうやって水を引くの？ — せきを使う

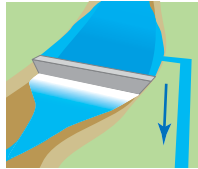
(1) 川から取水する

工場で使う水は、川から取っています。せきをつくって水をため、用水路に引きます。(→水田用の取水 p85)

注意!!…せき近くや水路は水が深く、底にどろがたまっています。近づきすぎないように。



水が少ない時や流れが変わると引けない。



せきをつくると、いつも水を引きやすい。



取水せき(※5)を造って水をため、岸の取水口から水を引きこむ。(音更川、土幌町)

川で行われた大きな工事

川につながる
ふだんの暮らし

川につながる農業

川につながる漁業や工業

(2) 堤防の下を通って水路へ

せきから取り入れられた水は、堤防の下をくぐり、工場へ向かう用水路に入ります。

堤防の外と内を結ぶ地下水路を「樋門」といいます。樋門には、洪水の時に川の水があふれ出さないよう、閉じるとびらが付いています。

(→水を流し出すための樋門 p114、p95、p71)

注意!!…地下水路は、急に深くなっているなど、大変危険です。



引きこまれた水が堤防に向かう。



堤防には樋門があって、そこから水を引く。



樋門をくぐって出た水は用水路に向かう。



水は地下に造られたトンネル水路に入る。



でんぶん工場に届く。

水はトンネル水路通って…

付録

※4 せき(堰): 取水のため、また流量や水位を調節するため、川の途中(とちゅう)や湖・池の出口などに、流れをさげぎって造られた構造物。

※5 取水せき(しゅすいせき、取水堰): 川などの水を取水するためのせき。